

世代交流で

地域に活力

立ち上がる農山

漁村認証授与

農水省は3日、東京都

内で、農林水産業を核とした地域活性化の優秀な事例を選ぶ「立ち上がる農山漁村」選定の認証授与式を開いた。2008年度に新たに選ばれた47

事例のうち、3事例の報告があり、地域を盛り上げる上で、高齢者から学生まで、さまざまな世代の出会いや交流の大切さが指摘されていた。

茨城県日立市の「夢ひたちファームなか里」の梶山明子代表は、地域の女性が始めた会館制による子ども農業体験活動を紹介。東京家政大学4

年の松本恭子さんは、新潟県長岡市で学生と酒屋や農業者が連携し、幻の米「白藤」を復活させた取り組みを報告した。大分県豊後高田市の「ふき活性化協議会」の小川寛治会長は、アイガモの飼育や農産加工直売所を生かした観光と農業の融合による地域活性化策を紹介した。